

にの二か

エルフに



# 淫紋

を付ける本

LEVEL:1



▶ R-18

ある夜

森深いエルフの  
隠れ里に

一人の賊が  
侵入した

賊は、  
村の秘宝が隠された  
宝物庫へと  
盗みに入ったが、

待ちなさい

宝物庫に  
何の用？

弓の名手と名高い  
森の守り手シルファが  
立ち塞がった――

エルフの森に  
何人たりとも  
入るべからず

掟を知らない愚か者よ、  
即刻立ち去りなさい

立ち去らぬならば  
盗みに入ったことを  
後悔することになるわ







男は宝を奪い、去って行った

何度も犯され抵抗する気力も失った頃……



宝玉を奪われたことを族長に報告しに行く……

……他にも術の犠牲者がいたようだった



お腹に刻まれたこの紋章のせいで

そして私もまた



翌日……

うう……身体が……熱い……

……昨日の余韻が……

昨日から

紋章が光った  
と思うと

発作的に激しい  
衝動が襲ってきて

森の守り手の使命も  
果たせず――

こんなにもあっさりと  
快感に溺れてしまうなんて  
……っ

エルフの数十年に二度の  
排卵  
発情期みたい

自ら慰める指を  
止められない……っ

だめ……  
身体が……

イクの  
とまらない  
……っ

もうこんなに  
濡れて……

こんなの……  
私の身体じゃ……

この日、クリで5回  
乳首で2回 中で3回  
絶頂に達するまで  
自慰をやめることは  
できなかった――

さらに翌日...

昨日より発作が  
強くなっている  
気がする...



間隔が短くなって、  
快感が深くなってきた  
ような...

術に掛かったエルフ達の中には  
強すぎる快樂でもはや正気とは  
言えない者もいる



恐らく私も  
このままでは...

卓からオナニー

もはや一刻の  
猶予もない



かくして森の守り手シルファは  
村の為、单身旅立った

憎きあの男を見つけ  
必ず解呪法を聞き出す  
...!



私が正気を  
保てるうちに

村を出て  
あの男を追おう







私の精気エナジーの出所を探ってる…!

執拗に全身を吸いつくされて…

ダメ…このままじゃ

旅に出た直後なのに私…死んじゃう!?!

誰にも触られたこともないのに

乳首っ…吸われてるっ…

クリトリスも吸われてるっ

膣内なかも…っ

こんな感覚はじめてっ…!!刺激強すぎる…!!

ダメ…頭が真っ白に…

ダメ…もう何も考えられない…っ

イクうううっ

え…逃げた…?

あ…そうかスライムの弱点は聖水…

助かった…



でも...  
その前に

何とかしてあの男の情報を  
聞きださないと



ここが人間の街

話には聞いてたけど  
本当に店も人もたくさん

ひどい目に  
逢ってしまったけど  
なんとか辿り着いたわ...

初めて来た...



ただでさえ  
初めての場所で  
不安なのに...

視線を意識しすぎて  
おかしくなりそう

うう...  
見られてる...



この格好を



なんとか  
しないと...

…とにかく  
一番近い店で…

何でもいいから  
服を買わないと

あの服…  
売ってちょうだい

へい

2500Gだよ  
毎度

高…ツ  
でも仕方ない

E: 踊り娘の服

しかし…人間は  
こんな恥ずかしい服  
よく人前で着るわね…

まるで下着だわ…  
みつともない

や、ち

ゆ、た



服は買えたけど

これじゃ情報収集に  
酒場にも入れない

どうしよう…

ちよっと  
お嬢さん

…何？

いい仕事  
あるんだけど

お客の前で  
ダンスをするだけで  
これだけ払うよ

なっ……  
ほ、本当に踊るだけ  
……？

もちろん！その衣装で  
踊ってくれば  
バッチリだよ

武器と元の服も  
出来れば修理したい……  
情報を得るのに  
酒場に行く必要も  
ある——

必要ならば  
仕方ない……か

……いいわ  
その仕事  
請けるわ

# 夜の鷹

よし！  
そう来なくっちゃ

……とは  
言ったけど……まさか  
こんな仕事だなんて……

村の皆には  
言えないわ  
……

こんな  
いやらしい  
踊り……

胸やおしりや……股間まで  
見せつけるみたい……

いいぞ  
脱げーっ

やらせろーっ

あ...また  
紋章が...っ

びん!

びん!

あ...っ  
息がかかるくらい  
近い距離で...

ミッ♡

ダメ...  
だめ...

気持ちよくなった  
さちやう...っ♡

キョ♡

キョ♡

乳首  
見せろっ

おマンコ  
見せてー!

ぜんぶ  
見られてる  
...っ

キョ♡

びん!

男たちの熱気と  
ギラついた視線で

私...  
おかしくなってる

こんなサービス...  
したくないはずなのに...っ

しほ♡

うおおおっ...っ!

いいぞおっ

エラーっ!

体は...もっと  
したがってる...っ♡

キョ♡  
キョ♡  
キョ♡



広い舞台上で  
眩しい灯りに  
照らされて

二拳一動を  
余すところなく  
見つめられて

オオオオオ

ほら…見て…

こんな信じられぬこと  
してるのに…

おなかの奥が  
せつなくなつて…  
どんだん  
気持ちよくなつて…

私の  
いやらしいところ…

もっと奥まで…

くはぁ♡

腰振りダンス  
止まらなくて…

とろとろに  
溢れてるの…

体が火照って  
指が止まらない  
…っ♡

見られてるのに…  
もう…イキそうなのっ…



見てえっ...♡

見て♡

見て♡

おおおお

お♡

お♡

お♡

い♡

イク♡  
イぐうっ♡

ヒク

大勢に見られながら

お♡

イク

ヒク

お♡

きゅううん♡

ア♡

最高だぜ  
エルフのねーちゃん!

一生のお宝じゃあ...

すげえ...  
見に来てよかった

おっ...  
いったのか?

その後：  
酒場の噂で  
あの男と思われる  
魔術師の潜伏先を聞いた



よし…  
ショーに出たお金で  
装備を修理に出せたり  
準備は出来た—



—やっと…  
辿り着いた

情報では男は  
今は使われていない  
この洞窟の奥に  
潜伏しているらしい…



村の皆の為—  
必ず解呪法と  
秘宝を…



見つけ出す!!



なっ…

何よこの水…  
それに…  
ヌルヌルして  
変な匂いが…

この湖…

足がとられて  
進まない…っ

くっくっくっ  
おっおっおっ



これは…

んあぁっ  
催淫成分の入った  
湖…!



なに…  
この感覚…

紋章の力とは違うけど…  
身体が熱い…っ!



気持ちいいの  
意識しちゃう…っ



歩きたびに  
敏感なところが  
こずれてっ…



狭い……

人間の食べ物  
せいかしら……



なんなのよ  
この洞窟……



やっと  
抜けた……



ジュルル



えっ……



触手——!?

んん……?



ダメ...!  
解けない...!

あ...  
あああ...

この...  
腕と足に絡みついで...

ぎちちっ...



まさか...  
これも...

あの男の  
畏...

な...!?



この  
触手…っ



媚薬の湖で  
おっぱいが  
敏感になってるのを  
分かってる…!?

意思が  
あるみたいに  
動いて…っ



的確に弱いところを  
狙って責めてくる…っ



あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

あ...

ああつ...  
やめつ...



あ...

あ...

あ...

いやああつ...

あ...

あ...



あ...

あ...

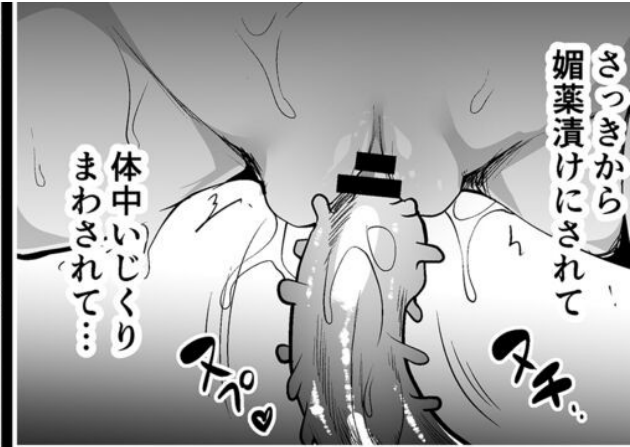
あ...

あ...



今にもイキそうな  
我慢してるのに……

こんなの



さつきから  
媚薬漬けにされて

体中いじくり  
まわされて……



挿れられたら



すぐイクっ♡

イグっ♡

イグうううっ♡

アッ  
アッ

アッ  
アッ



クリトリス剥いで  
バキニムしないれつ...

強しめ...♡



あ♡だめ...  
まだイって...♡



頭溶けちゃうつ  
おかしくなるう...♡

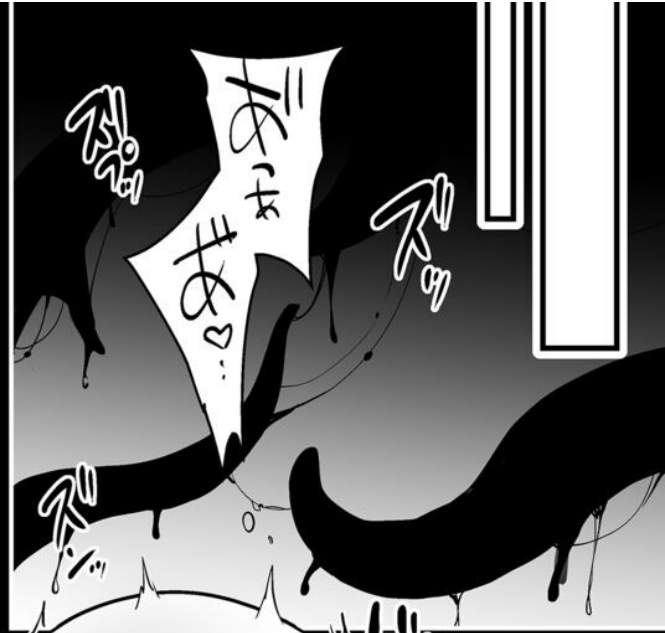
あ...♡



あつ...あ...ああつ  
おっはいもう  
やだあ...♡

あ...♡







街で噂に  
なっていたぞ  
発情したメスエルフが  
魔術師を探してると



カッ



最上級の淫紋を  
植え付けたのに  
よく辿りついたな

意外と骨のある  
女だ



返さない…  
それは村の  
大切な宝…

何に使うつもりか  
知らないけど…  
人間には過ぎた代物よ

返さないのならば  
力尽くでも  
…



宝玉…

黙れ

メス臭い汁を  
垂れ流して  
えらそうに偉そうに

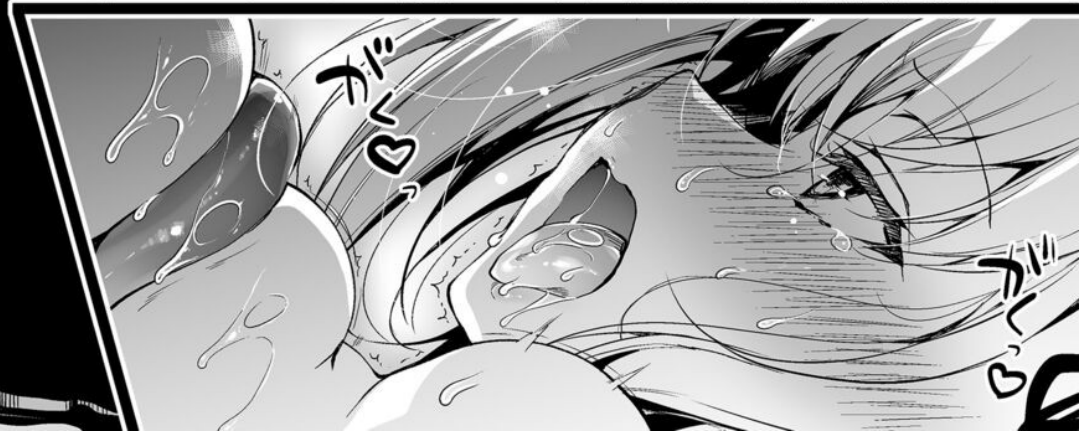
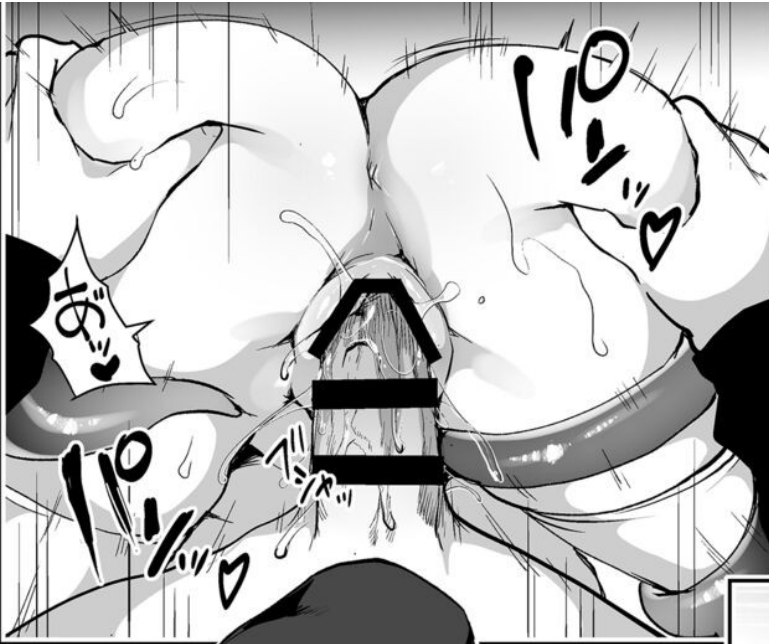
媚薬と触手たちで  
すっかり発情し切ってる  
じゃないか

あいつら  
触手たちの愛撫で  
何度達した？

強がる素振りも  
しても

ここは吸いついて  
啜え込んでくるぞ





あきらめて  
負けを認める

その淫紋は  
今や――

お前という宿主の  
心すら浸食して  
主に服従したがって  
いる

もはや意志とは関係なく  
心の奥底から  
男を求めずにいられない  
はずだ……

ほらお前の膣内は  
一突きごとに吸い付き  
精液を絞ろうと  
してるぞ

違っ！

あッ♡

♡チユクク♡

なんや……あ……  
だ……な……♡

♡チユクク♡

ズクッ

ズクッ

ズクッ

♡チユクク♡

♡チユクク♡

♡チユクク♡

♡チユクク♡

♡チユクク♡



いや...  
イヤなのにな...♡

あ...  
あ...  
あ...

ガッ♡

ガッ♡

あ...  
あ...  
あ...

この男の言う通り♡  
求めてしまう♡...

ズ  
チュ  
ズ  
チュ  
ズ  
チュ

ピクッ♡

ピクッ♡

ズ  
チュ  
ズ  
チュ



ダメ...  
負けちゃ...!

ほ...♡



ピクッ♡

ズ  
チュ

うるさい  
口だ

ホ  
ホ  
ホ



!!  
!!

この触手の淫液は  
体の感覚を  
100倍にする

即効性の媚薬の原液だ

トク  
トク

ん...♡

ん!?

ピクッ♡

ピクッ♡

ん...♡

ん...♡





頭のとっぺんから  
爪先まで痺れて...

何も  
考えられないっ♡

ダメ...っ♡



こんな...

玩具みたいに扱われてるのにつ...



乳首も...



イク...うっ

クリも吸われてえ...



イクことしか考えられないっ



イク...うっ



さあ  
どうする…

勝ち目がない  
ことは  
分かったろう

お前が手を引けば  
村の仲間は  
助けてやるぞ…

誓え…

宝玉を捧げて  
服従すると  
…!!



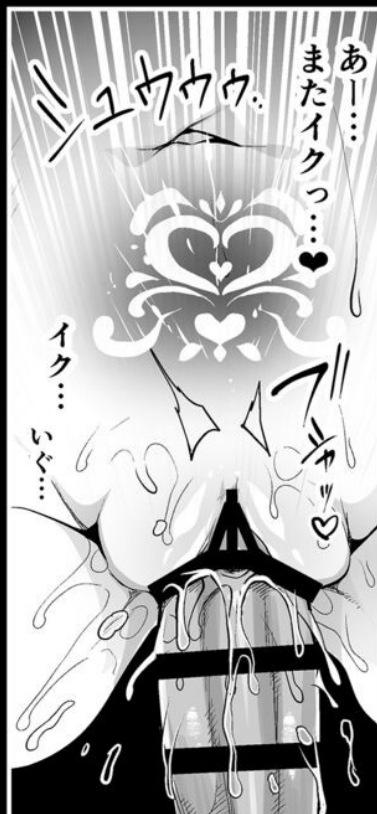
まけ  
にや…  
宝は  
渡せ

それだけは

いや…  
ぜったい

ダメ…





わかった...っ  
宝玉は諦める...

あなたに服従を  
誓いますっ...

だから...

—だから  
犯して...

弱い♀エルフに  
強い子種を恵んで  
ください!っ

#R2D

#R2D

#R2D

もう我慢  
できないの  
っ

フ...

あああ

いいだろうっ





あ...♡  
ん...♡  
あ...♡  
ん...♡

あ...♡  
ん...♡  
あ...♡  
ん...♡

びん...

あ...♡  
ん...♡

ホー...

ホー...

あ...♡  
ん...♡

ご主人様のおちんちんっ

子宮の入り口  
ノックして...っ

おまんこ勝手に  
吸い付いちゃって...♡

また...♡

あ...♡  
ん...♡

あ...♡  
ん...♡  
あ...♡  
ん...♡

びん...

あ...♡  
ん...♡  
あ...♡  
ん...♡

あ...♡  
ん...♡  
あ...♡  
ん...♡

あ...♡  
ん...♡  
あ...♡  
ん...♡

あ...♡  
ん...♡



あ

あ  
はあ

淫紋が定着した  
とはいえ

はあ

はあ

あはは

ズ  
グ  
グ  
ッ

誇り高き  
エルフの森の  
守り手が

簡単にイキまくって  
喘いでいいのかわ

ズ  
グ  
グ  
ッ

こんなにマンコ  
締め付けて

敵の精液  
おねだりして

ザイメン

村のみんなに  
謝らなくて  
いいのかわ

やあ

それは...

キ  
ム  
ラ  
ク  
リ  
ン  
ゴ

ズ  
グ  
グ  
ッ

おのれは...  
強くて...  
あはは

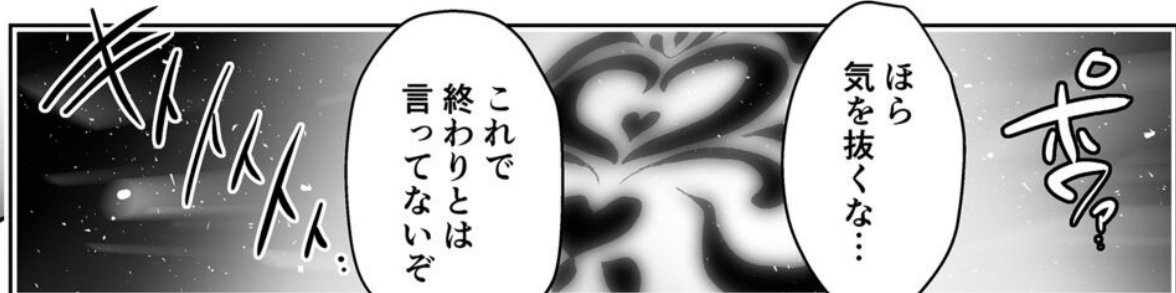




これからお前を  
常に連れ回して  
気が向いたら犯す  
ことにしようか

いい  
具合だ…  
もうお前のマンコは  
俺の精液を絞り取るだけの  
専用子種袋だ

いつでも精液の匂いが  
漂うほどに  
精液漬けにしてやる



ほら  
気を抜くな…

これで  
終わりとは  
言っていないぞ



また  
おおきく  
…!!

ドクドク…♡



イキまくって  
うまさうな匂いを  
振りまく

俺専用マンコの  
一番奥まで……

精気を吸い尽くして  
やる

ズブズブ♡

安心しろ

吸われる方は極上の  
快感らしいぞ



またイグザ…♡  
ニムニム♡

オオオオ♡  
オオオオ♡

ズブ♡

ズブ♡

ズブ♡

ズブ♡



オオオオ♡  
オオオオ♡

オオオオ♡  
オオオオ♡

ズブ♡

ズブ♡

ズブ♡

ズブ♡









ふう……  
さすがに  
若い雌エルフだ

いい締め付けで  
期待以上に  
搾り取られた

なかなか  
美味かったぞ

……全然  
聞いてないな

ゴホオ♡



気が付いたか

ああ...  
そっか私...  
あの男に...

こっちは...



これからエルフの  
里に向かう

お前、  
一緒に来い

え...

何で私が  
一緒に...

...いいから来い  
別に淫紋で言う事を  
聞かせてもいいんだぞ  
...



よし  
じゃあ  
行くとしよう

くっ...  
とんでもないことに  
族長に  
なんて言おう...



...

はあ...♡

...わかったわよ

一緒に  
行くわよ...



それに...

役に立つ  
働きをしたら...



ご褒美を  
やるぞ...

...

to be continued...